

今年の夏休みも「探究的な学び」に挑戦

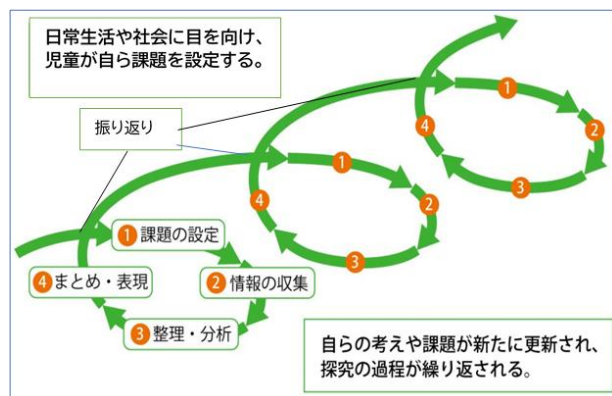
日頃より円山小学校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき大変感謝しております。ありがとうございます。まどかっ子（第10号）では、今年度のスクールプランについてご説明させていただきました。その中でも少しでもふれましたが、今年の夏休みは昨年同様に各自が探究的な学びに挑戦してほしいと考えています。今回は、その取り組み方について改めてご説明いたします。

1 なぜ今「探究的な学び」なのか

近年、グローバル化や人工知能の活用などの技術革新が加速度的に進んでいます。そして今後も激しい変化はさらに進むと思われます。現代社会では、将来何が起こるのか世の中がどうなっていくのか誰も分かりません。こうした社会の中で、子供たちの学びも進化を求められています。社会の激しい変化に主体的に対応し、自ら課題を見つけ、考え、決断し、自分の道を自分で切り開く力の育成が必要です。

新学習指導要領ではこの力をより育むことを目指しており、「探究的な学習」という言葉が繰り返し使われています。探究的な見方・考え方を働かせながら、これからの時代を生き抜くために必要となる「生きる力」を身に付けるための学び方が「探究的な学び」なのです。

2 探究的な学びとは



本校の今年度の研究テーマは「夢に向かってたくましく生きる円山っ子」です。サブテーマには「つながる探究的な学び」を掲げ授業改善に取り組んでいます。探究的な学びとは、「問いをもつ」－「調べる」－「深める」－「まとめる・表現する」を繰り返すことで、新たな課題や思考が更新され続ける課題解決型の学習です。

たった1ヶ月ほどの夏休みなので、①から④までを経験できれば100点満点です。

3 子供自身が「自分の適性に応じて」学びを選択できる夏休みの課題へ

「自分にあった課題を考え、やりぬくこと」を、夏休みの課題の一番の価値ととらえます。

自分で決めた事だからこそエネルギーも出るし、続けられるし、やりぬいてほしいと願っています。

「自分の適性」とは・・・

- ・ 学習内容によるもの（漢字、計算、体力づくり、リコーダー・・・）
 - ・ 興味・関心によるもの（絵をかくのが好き、虫が好き、鉄道が好き・・・）
 - ・ 自分の生活環境によるもの（塾、習い事、スポーツ少年団・・・） など
- これらに応じて、「自分にあった課題を考え」「決定し」「やりぬく。」

4 課題とゴール

<課題例>

- ・災害に強い円山地区にしたい
- ・いろいろな虫を調べたい
- ・家庭科で学習した裁縫で何か作りたい
- ・理科で学習した月や星の動きを調べたい
- ・生活で育てたアサガオの観察を続けたい
- ・泳げるようになりたい
- ・新幹線延伸を機に鉄道について知りたい
- ・この暑さに我慢できない
- ・総合的な学習での課題が進んでいない
- ・家の畑の野菜を使って料理を作りたい
- ・円山地区のことをもっと知りたい
- ・みんなで遊べるものを作りたい
- ・長い夏休みだからできることをしたい

<ゴール例>

- 安全マップづくり
- 昆虫採集や標本づくり
- 洋服作りやパッチワーク
- 方向や高さ、時間等をまとめる
- 観察日記を毎日つける
- 25mを泳ぎ切る
- 鉄道を徹底調査
- 地球温暖化やその対策について調べる
- 取り組みをさらに発展・追究する
- オリジナル夏野菜レシピ本作り
- 円山地区の歴史を年表にする
- 円山地区を題材にした「かるた」作り
- 読書〇〇冊読破や読書感想文

※自分の課題を見つけられない場合は・・・

- ・図工や作文等の作品コンクール一覧表の中から、やりたいものを選んで作品を仕上げる。
↑これでも十分やりがいがあります。

※課題設定のヒントは、テレビや日常生活にもあふれています。課題設定自体も楽しめると良いですね。

5 夏休みの宿題の組み合わせ例

パターン1：自分の課題を徹底追究

パターン2：自分の課題＋夏休みの友

パターン3：自分の課題＋作品コンクール選択

パターン4：自分の課題＋問題集（プリント類）等

発達段階によって無理なく学習できるように、学年によってパターンが違います。

詳しくはおたよりや懇談会でご確認ください。

6 お願い

※①課題によっては、保護者の方の協力を必要とするものもあるかもしれません。お子様と一緒に夏の計画を早めに相談しながら進めていただけるとありがたいです。

※②夏休み中に課題が達成できるか（ゴールにたどり着けるか）は重要なポイントの一つです。満足感や達成感を味わえるように、難しすぎる場合はアドバイスしていただけるとありがたいです。

※③成果物がある場合は、夏休み明けに是非学校へ持たせてください。

※④課題に決まりはありませんが、**★自分の学びや成長になること**や**★人のために役立つこと**だと、課題に対する追究意欲が持続しやすいと思われます。

「自分にあった課題を考え、『人・もの・こと・情報』とつながりながら学びを深めていく」力が育つことをねらいとしています。どうかご理解とご協力をお願いします。